

【七夕】

7月7日といえば七夕。織姫おりひめと彦星ひこぼしが一年に一度会える日である七夕は、もとは中国の伝説でした。牽牛けんぎゅう(=彦星)と結婚した織女しよくじよ(=織姫)が、結婚生活を満喫しすぎて機織りはたおをさぼりすぎた為に天帝の怒りを買って、一年に一度しか会えなくなってしまうのです。

この牽牛と織女の伝説が奈良時代に日本に伝わった後、日本の神に願いを伝える棚機たなばたつ女め信仰と結びついた結果、笹の木に願いを書いた短冊をつるすなど、現在の七夕の形になりました。

このゲームでも、織姫と彦星は無事に出会うことができるのでしょうか??

あそんでみよう!

【準備】

・天の川を表すスズランテープやロープなど(なくても良い)

【進め方・ルール】

- (1) 子どもを半数に分けて、天の川を挟んで向かい合って一列に並ばせる。片方は織姫、もう片方は彦星。
- (2) 全員が下を向いて、心の中で向こう岸の相手を一人決める。
- (3) 進行役が「たなばた たなばた マツチング」と言ったら、「グ」のタイミングで心に決めた一人の顔を見る。
- (4) もし相手も自分を見ていて目線が合えば、見事マツチング! 天の川の真ん中で再会を喜び(ガッツポーズをするなど)、列から抜ける。
- (5) 残った子どもはまた下を向いて、心機一転新しい相手を心に決める。
- (6) 全員が相手を見つけるまで同じことを繰り返します。全体が奇数だと最後に一人余るので、円満に終わらせるには大人が入って偶数になるよう調整する。

※早く相手が見つかった人が飽きてしまう場合は「相手を見つけたら織姫と彦星が入れ替わる」というルールにするとエンドレスで楽しめます。

